

国づくりは人づくり

久が原地区管内	人口	男	12,361人
		女	12,541人
	計	24,902人	
	世帯		11,000世帯

平成13年9月1日現在

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会
編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原2-19-3
TEL (3752) 4271
FAX (3752) 4514
題字：三木兼吉

子どもSOSの家と夜間パトロール 子ども達を取り巻く 環境の整備は地域を挙げて

久が原青少年対会長 富田 稔

明日を担う子ども達が健康に成長し、安心して生活できる地域社会をつくるために、学校・PTA・自治会・青少年対等が連携を強めながら努力を積み重ねています。にもかかわらず、子ども達を取り巻く環境の変化に対応が遅れがちになっていることは残念ながら現実だと思えます。その意味では、七月から実施された「子どもSOSの家」事業は時代に適応した、意義のある施策だと思えます。P



TA・青少年対・理容組合の協力により現在三千五百ほどの登録がありました。わが久が原地区においても二百を超えるご協力を戴いております。最近、子ども達を狙った変質者の動向や、嫌がらせ・脅し等の事例が報告されています。子ども達が安心して駆け込める場所の数多い設置は、悪どもに対する抑止の効果が大いなのではないかと考えます。一方、久が原青少年対では、この夏休み中の毎土曜日に夜間パトロールを行いました。毎回二十人ほどの参加で、九時〜十時半まで、地域内の特に裏道や神社、公園等の暗い場所を選ぼうようにして廻りました。結果は、裏切られたかのごとく静かなものでした。しかし、この結果に満足し、監視の目を絶やすことがあってはならないと、私たち青少年対は気持ちも新たに次の行動を開始しています。

新自治会長あいさつ ヒルズ久が原自治会長 片山圭一朗

皆様方には、日頃より地域の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

矢部信一さんの後を受けて自治会長に就任しました片山圭一朗と申します。私は池上に生まれました。一方、自治会活動の経験が浅いため、先輩の四自治会の皆様にご指導を仰ぎながら、一つひとつ重責を果たしていきたいと考えております。



ヒルズ久が原自治会は誕生から丸二年を迎え、自治会員にも同じ久が原に住んでいるという意識が芽生えつつあります。今年にはようやくふれあい久が原にもチームを出すことができ、うれしい限りです。まだまだわからない事ばかりですが、何卒よろしくお願ひいたします。

収穫の喜びを実感 じゃがいも掘り大会

日頃土いじりの少なくなった子ども達に、野外でのびのびと遊んでほしいと、町田市の田中農園にて、七月八日(日)じゃがいも掘り大会を実施しました。

昨年は台風のため中止になりましたが、今年は晴天に恵まれ、引率者を含め約六〇名の参加で実施しました。当日九時に久が原会館に集合、バス一台で出発、一時間半ほどで町田市の農園に着きました。開会式を行い、早速いも掘りの準備。いも畑の草取りをした後、子ども達を一行に並べ、いもを掘り起こしました。初めての体験をした子ども達も多く、夢中で土を掘り返っていました。大きないもを掘り当てたときには大きな声を出し、収穫の喜びを全身で感じている様子でした。昼食は収穫したいもでのカレーライス、自然の中の味は最高でした。午後は鶴見川の源流の散策に行きました。

丹沢山系大山へ 青少年対ハイキング のお知らせ

(実行委員長 小倉 泰)

平成十三年度青少年対体育部会は、神奈川県丹沢山系に位置する大山をハイキングの目的地として計画します。この大山は、古くから信仰の山と親しまれています。今では家族連れが多く訪れてい

公共幼児教育施設 松仙幼稚園の 子育て支援活動

昨今の少子化、核家族化に伴い、親子の関わりが難しくなっています。過保護や過干渉も軽視できませんが、育児ノイローゼや虐待などは社会問題と化しています。こうした現状を踏まえ、松仙幼稚園では、公共幼児教育施設として、乳幼児をもつ家庭への子育て支援活動を左記のとおり行っています。

- ①まつぼっくりの会
地域の乳幼児をもつ家庭が、幼稚園で遊んで交流を図

- り、育児の情報交換をします。
十月十五日・十二月六日・十一月二十四日の十時〜十一時
- ②遊びの広場
未就園児と園児が園内で交流し、信頼関係を構築します。
十一月二十二日・十二月十八日・二月二十六日の九時〜十一時二〇分
- ③春・夏休業中の園庭開放
春と夏の休み中、地域の乳幼児の遊び場として土・日を除く午前中、園庭を開放します。このような本園の取り組みが、少しでも地域の子育て活動のお役に立てれば幸いです。どうぞ親子でご来園ください。

(教頭 土屋裕子)

生涯スポーツ社会の実現を 参加しよう スポーツまつり

(体育部長 直井武寛)

十八回目のスポーツまつり、今年は大変大きく変わりました。「体育の日、住まいの近くで楽しくスポーツ」をスローガンに、二十五会場で三十四種目のいろいろな体験ができます。例えば、雪谷文化センターで、体力測定・ニュースポーツ体験・ウォーキングセミナー等があり、その他東調布公園プール・区民プラザなど(詳細は出張所まで)。

お近くの会場で、秋の一日気持ちのいい汗を流して見ませんか? なお、大森スポーツセンターでは、久が原のクラブチームが出場する綱引きがありますので、皆様の応援よろしく願ひいたします。誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができます。生涯スポーツ社会。この区民スポーツまつりがその実現に一步でも近づけるきっかけになればと思います。
(体育指導委員 斉藤眞理子)

イベント情報

OTAふれあいフェスタ

【開催日】10月13・14日

【会場】平和島公園周辺

☆大森駅から出発するパレードは見ものです。

虹まつり

【開催日】10月28日10時～

【会場】上池台障害者福祉会館

【電話】3728-3111

☆演劇・バザーなど、楽しい催しがいっぱいです。

十中校区健全育成推進講演会

【開催日】11月9日18:45～

【会場】久原小学校体育館

【講師】汐見稔幸氏（東大助教授）

【演目】子育ては親育て

☆とてもためになる話です。ご興味のある方はどうぞ。

IT講習会

【開催日】①11月20・21日 9時～16時

②12月3～6日 13時～16時半

③12月4～7日 9時～12時

【時間】9時～16時

【会場】久が原特別出張所

【申込受付】10月5日（金）まで

【問合せ】5744-1287（社会教育係）

☆パソコンの基本操作をまず身につけます。

このほかにもいろいろな行事があります。お気軽にどうぞ。



夏休み子どもキャンプ

北浦白浜の地にキッズヴィレッジ開かれる

今年の夏休み子どもキャンプは、昨年までの富士御殿場国立中央青年の家から茨城県立白浜少年自然の家に会場を変更し、八月二十六日・二十七日に実施されました。白浜少年自然の家は、霞ヶ浦と対を成した北浦を見下ろす高台にある施設で、その広大な敷地には宿泊棟・キャンプ

場・野外炊飯場などが完備されている充実した施設です。当日は、久が原会館前に集合し、小学生・引率者合わせて総勢一〇名はバス2台・ワゴン車3台に分乗し久が原を出発しました。バスの車中では、ジュニアリーダーが準備してきたバスレクリエーションで小学生達と楽しい時間を過ごしました。途中、霞ヶ浦のほとりにある水の科学館を見学。展望塔や館内からは歓声が聞こえてきました。ここで昼食をとり自然の家に向かいました。到着後、開村式をし、オリエンテーションを受けた後、班活動の時間となりました。今回は、この地域に雷雨の予報が出ていたため、テントでの宿泊を断念し、宿泊棟を利用することにしました。夕食は、野外でのカレー作りです。子ども達は慣れない手つきで野菜を切り、薪を割り、美味しいカレーを作り上げました。全員満足顔でした。夕食後は、ジュニアリーダーを中心にキャンプファイヤーです。歌と踊りで、全員大いに盛り上がりました。翌朝は6時に起床し、ラジオ体操の後朝食です。食後は、施設内の「いろいろの家」にてうどん打ち体験です。自分の手で粉から作ったうどんの味は、きつと格別だったこと

しょう。閉村式後、帰途についたわけですが、この二日間の体験が子ども達の心に良い思い出として残るよう期待します。一人のケガ人もなく、無事に戻れましたこと青少年対・PTA・ジュニアリーダーそして事務局のご尽力に深く感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。（実行委員長 富田浩司）

夏の風物詩

楽しい盆踊りや子供会

今年の夏は酷暑に見舞われました。この暑さの中、恒例夏の行事が各地で行われました。

①七月二十四・二十五日の2日間に渡り久が原バス通、東久が原商栄会（会長斉藤登）主催による盆踊りが、久が原デザイン駐車場2階にて開催されました。初日は大田区役所の「くすのき連」による阿波踊りで幕開けとなり、「合同踊り連（四自治会婦人部で構成）」の面々による踊りが披露されました。翌日は「合同踊り連」の踊りを中心に飛び入り踊り手を交え踊りの輪が広がり、「商栄会婦人部」と染め抜いたTシャツ姿の活躍が一段と映えました。「いつ

も雨に祟られるのに、今年は2日間十分に楽しめました」（本郷正実行委員長談）。②八月五日は久が原銀座商店街振興組合（理事長遠藤孝一）の盆踊りが、柳の交番前信号から久が原三丁目信号の間の道路を交通遮断し、ライラック通りを開放し行われました。大勢の参加者があり「合同踊り連」も含めて暑い夏の夜を太鼓に合わせて踊り、大変な盛り上がりとなって賑わいました。③この日（五日）は道々橋自治会主催の子供会が開かれ、約四百名が道々橋神社境内に集まり、楽しみました。④また八月十六日には、本光寺境内にて「無縁仏」供養盆踊りが行われ、五〇名ほどが集まりました。（小原洪二）

明るい社会づくり

夏の防犯講習会 八月五日（日）久が原会館

池上警察署防犯係による防犯講習会を開催しました。まず「防犯ビデオ」の上映と、これを中心に、ひったくり、空き巣や強盗、年少者の非行等の状態などの講演と、参加者（八十余名）からの質疑や意見の交換など、自助努力による防犯心得などを話し合い、大きな成果をあげることができました。催しには、明社の会員をはじめ近隣の有志及び会館を利用中の方がたも聴講されるなど盛会でありました。（大田明社の会 川又 浩）

俳句

菊に酌む友の次第に減りにけり 鈴木定子
朝霧や鐘打つ人の影もみず 塩崎明子
静けさや銀杏黄葉の大伽藍 島村洋子
昨日より今日の色濃く葉鶏頭 小松しず子
露の世の空港といふ別れの場 村野陽子



委員会からのお知らせ

区内には大小様々な公園が五百以上ありますが、八月に大田区で三千平米以下の公園の管理・運営方法を変えて行きたい旨の説明会が開催されました。

会では、公園を、管理人による管理から、老人会や任意のグループ等に運営を任せたいとの説明がありました。

まだ緒に付いたばかりですが、公園が地域のニーズに即したものとなるとともに、住民も積極的にまちづくりに関わっていく契機になるものとの区では期待しています。

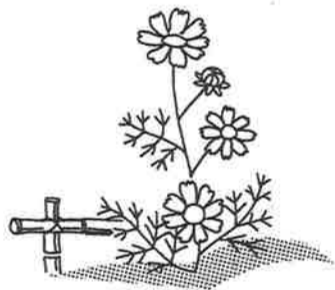
編集後記

○暑い夏に諸々の熱いニュースが続きましたが、秋めく風とともに、爽快な季節を迎えました。

○情報紙も時の流れの中で、地域の皆様にご納得の記事をより多く集めたいものと努力いたしております。

（かわまた）

随筆 久が原の四季「秋」



九月・涼風・十五夜・暑さから解放され、心地よい空気に、密かに漂う香気は金木犀。その香りを意識したその瞬間から、いよいよ「秋到来」を思う。大きな木に星をちりばめたような花は、見るだけでも可愛い。そのうえ、馥郁たる香りを遠くまで運んでくれる。小さいころ、我が家の庭で見た白い花をつけた銀木犀、金銀の名前を戴いた庭木は、なんとロマンティックな

ことか。薄が穂を出して、枝垂れた萩が扉を飾る。赤紫や白い萩のつぼみは、小粒ながら厚みを感じさせ「襖紗」のもつ優雅さと重ね合わせて思い浮かべてしまふ。久が原の庭は、柿の木、石榴の木が豊かに果実をつけて、秋の収穫の季節を感じさせる。一方で、澄んだ空気、高い空を満喫しているうちに、徐々に樺や銀杏の黄葉が進み、紅葉が赤く染まり、花水木は赤い小さな実をつけ、葉っぱも夕日のように美しい色に変化してゆく。万両は真夏に咲いた白い花が緑の実となり、やがて赤く熟して、真冬のヒヨドリたちのご馳走を準備し始める。どことなく、足早に通り過ぎてゆく、物寂しさの暮る晩秋。しかし、夏の暑さに耐えた木々は、その成果を如何なく発揮して、実りの充実感を与えてくれる。（南自治会 森 葉子）